

令和4年度 地域協働学校 ふじみ野市立元福小学校

元福小だより

No.4 令和4年6月30日

ふじみ野市元福岡3-15-2 TEL 264-5402 FAX 266-2796

E-mail motofukusho@fujimino.ed.jp



あいさつ＝心と心をつなぐ魔法の言葉

校長 星野 和久

「校長先生、おはようございます！」

朝、私が正門に立っていると、元気の良い子どもたちのあいさつがたくさん聞こえてきます。子どもたちは登校中のため、私と目線をあわせて、歩きながらあいさつをする子がほとんどですが、中には、丁寧にお辞儀をしてくれる子もいます。場所は、正門だけに限りません。私が教室に入った時でも、あるいは廊下ですれ違った時でも、子どもたちはすすんであいさつや楽しい話をしてくれます。あいさつをはじめ、このように全校の子どもたちと関わることができるのが、私にとって大きな喜びです。

「おはようございます」の由来は、一説によると、日本の伝統芸能である「歌舞伎」にあると言われています。歌舞伎役者は、身支度にとっても時間がかかります。そのため、公演が始まるずっと前には到着して、準備を始める必要がありました。それに対し、裏方の人たちが労いの意味を込めて使った言葉が、「お早いお着きでございます」だったそうです。その言葉が次第に変化して、現在の「おはようございます」の形になりました。ちなみに、「こんにちは」は、「今日は、ご機嫌いかがですか」「今日は、いいお天気ですね」のようなあいさつが、明治時代以降に省略され、「こんにちは」の形が広まったと言われています。多くのあいさつは、相手のことを気にかけたり、思いやったりする気持ちから生まれているのが特徴です。そして、どの時代にも共通しているのは、あいさつが人の心と心をつなぐ架け橋になっているということです。

あいさつは、心と心をつなぐ魔法の言葉。そして、人との「かかわり」を豊かにする大切な言葉です。子どもたちの中にあいさつの習慣が力強く根付き、定着できるように、学校としても力を入れて取り組んでまいります。

<子どもまつりを実施しました>

先日、子どもたちが楽しみにしていた「子どもまつり」を実施することができました。新型コロナウイルス感染防止を考慮して、保護者や地域の皆様の参加は見送らせていただき、子どもたちと教職員で実施いたしました。

1年生から6年生までの異学年での準備活動で密を避けるなど、感染症対策を取りながら進めてきました。特に、6年生の活躍はすばらしく、事前に準備を重ねるとともに、1年生から6年生までが一緒に楽しめるゲームを選び、分かり易く丁寧に遊び方を説明していました。6年生がリーダーシップを発揮して、全校の子どもたちとともに楽しい時間をつくり上げたことをとても嬉しく思いました。また、すばらしいことに5年生が6年生の話をよく聞いてくれて、6年生が動きやすいようにしてくれました。5年生が、6年生の話を受けて班のみんなが動けるようにと、1年生から4年生を見守り、困っている下級生に声を掛けていました。6年生のリーダーとしての動きを、5年生がしっかりと支えていたのです。

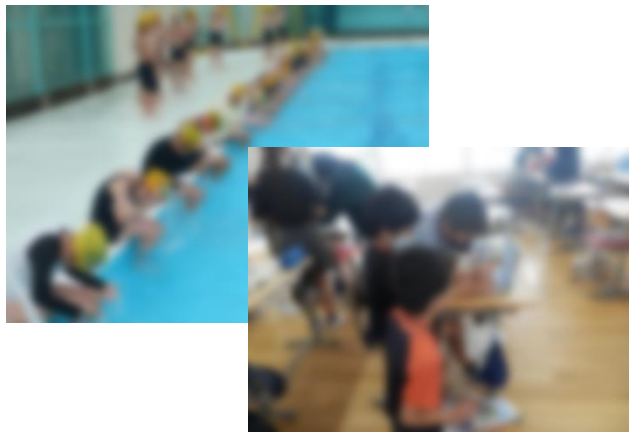
リーダーがリーダーシップを発揮し、サブリーダーやメンバーがフォロワーシップを発揮するとき、そのチームは、目的に向かって進む歩みをより一層強くします。そして、このようなチームの中でこそ、お互いに支え合い、メンバーそれぞれが自らの役割を果たし、一人一人が活躍することができると考えています。

今回の「子どもまつり」は、6年生のリーダーシップと5年生のフォロワーシップが、同時に発揮された場面であったことを感じました。このような姿に、元福小の子どもたちがもつすばらしい可能性の大きさを感じることができました。



落ち着いて学習に臨んでいる子どもたち

梅雨明けし、連日暑い日が続いています。熱中症への対策として、外遊びや外の体育ができない日もありますが、子どもたちは落ち着いて生活しています。水泳学習もはじまりプールに入れる日を楽しみにしています。



自己肯定感を育むために

子どもたちが成長する中で「自分のことを価値ある人間である、大切な存在であると感じる心（自己肯定感）」を育てることは大変重要です。子どもたちは日々、新しいものや人や出来事に出会い、そこで得た知識や感情体験を自分の中に積み重ねていきます。自分に自信のある子どもほど失敗を恐れずチャレンジを重ねるので、成功体験も多くなり、「人生は楽しい」と前向きな気持ちになりやすいものです。たとえ失敗しても、それを「ひとつの経験」として学び、失敗を自分の力にしていけることができます。

この自己肯定感を育てる核となるのが、家庭での毎日の言葉かけなのです。

◎自己肯定感を高める言葉かけ

【承認】すごいね さすがだね いいね

【感謝】ありがとう うれしい 助かった

【感心】なるほど 知らなかった

【安心】だいじょうぶ

【指摘する時】○○らしくないね

子どもたちの人生を幸せで豊かなものとするために、日々の言葉かけを工夫していきましょう。



「子どもの自己肯定感を高める 10 の魔法のことば」
石田勝紀 著 集英社 より

7月の行事予定

日	曜	朝の活動	行事
1	金	なかよし	授業参観・懇談会（高） 林間学校説明会 校内硬筆展 教育相談日(SC)
2	土		
3	日		
4	月	算数	
5	火	児童	
6	水	読書	
7	木		特別日課 学習会
8	金	学級	林間前健診 ともしび号
9	土		
10	日		
11	月	国語	
12	火	表彰	
13	水	読書	
14	木		特4 下校 13:20 頃
15	金	学級	短4 給食終了 下校 13:50 頃
16	土		
17	日		
18	月		海の日
19	火		特3 下校 11:40 頃
20	水		特3 終業式 下校 11:40 頃
21	木		夏季休業日(～8/24まで)
22	金		林間学校(5年) ↑
23	土		林間学校 ↓
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

7月の生活目標

「ろうかの右側を歩こう」
・学校内で静かに過ごそう

